

# 目 次

はじめに

第1章 子ども権利条例案づくりはこうして始まった	5
1 子ども権利条例案づくりに至るまで	5
2 子ども権利条例検討連絡会議、子ども権利条例調査研究委員会の取組	6
(1) 条例案づくりの基本姿勢	
(2) 条例案づくりのすすめ方	
第2章 子どもの権利をめぐる現状と問題点	9
1 川崎の子どもたちは今	9
(1) 市民意識調査やその他の調査から	
(2) 「暮らしの場」ごとにみる子どもたちの現状	
2 子どもの権利をめぐる問題点	14
(1) 子どもの現状と子どもの権利保障	
(2) 子ども権利条例の理念をめぐる現状と課題	
(3) 子どもの居場所と参加をめぐる現状と問題点	
(4) 子どもの権利救済をめぐる現状と問題点	
(5) 子ども施策の推進・評価をめぐる現状と問題点	
第3章 いま、なぜ子ども権利条例か	23
はじめに	
1 なぜ、子ども権利条例か	24
(1) 子どもの権利について考え方を共有する	
(2) 子どもの権利保障の指標として	
(3) 子どもの権利を保障する総合行政のために	
2 川崎発・子ども権利条例	27
(1) 川崎の条例、川崎を生かした条例、そして川崎からの条例	
(2) 子どもに即した総合的な自治体条例	
(3) 子どもの権利の国際的な水準を生かした条例	
第4章 市民討議に向けて～今後の検討課題～	29
1 子ども権利条例を支える理念の検討	29
(1) 子どもも独立した人格と尊厳性を持つ存在	
(2) 子どもを権利の主体として	
(3) 子どもの権利の総合的保障	
(4) 地域における子どもの権利保障	
2 条例案を方向づける主要項目別の検討	34
(1) 子どもの居場所・参加に関する討議課題と提案	
(2) 子どもの権利救済システム実現に向けた今後の検討課題	
(3) 子ども施策の推進・評価に関する今後の検討課題	
資 料	49
<1> 委員等名簿	
<2> 設置要綱	
<3> 関連会議・集会等の記録	
<4> 参考とした資料	
<5> 子ども委員会ニュース	